

令和8年3月11日

令和7年度「障害児・者のスポーツライフに関する調査」 の結果を公表します

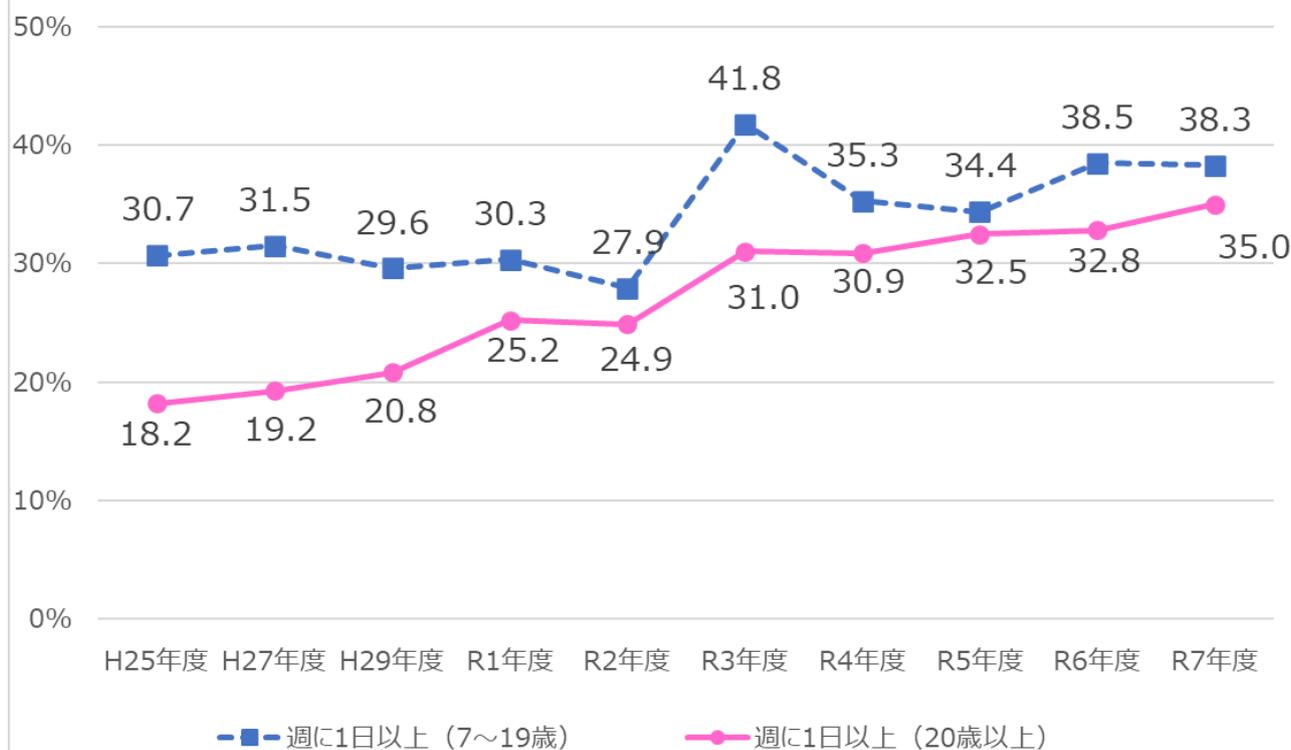
～障害者の週1日以上スポーツ実施率は20歳以上で35.0%、7～19歳で38.3%～

このたび、令和7年度「障害児・者のスポーツライフに関する調査」の調査結果概要を取りまとめましたので、公表します。

1. 障害者の運動・スポーツの実施率について

- 過去1年間に運動・スポーツを行った日数についての調査結果より、実施頻度が週1日以上の実施者の割合について、20歳以上と7～19歳に分けて集計した。その結果、20歳以上では35.0%、7～19歳では38.3%であった。令和6年度と比較すると、週1日以上の実施率は、20歳以上は増加、7～19歳は横ばいとなった。

障害児・者の運動・スポーツの実施率の推移

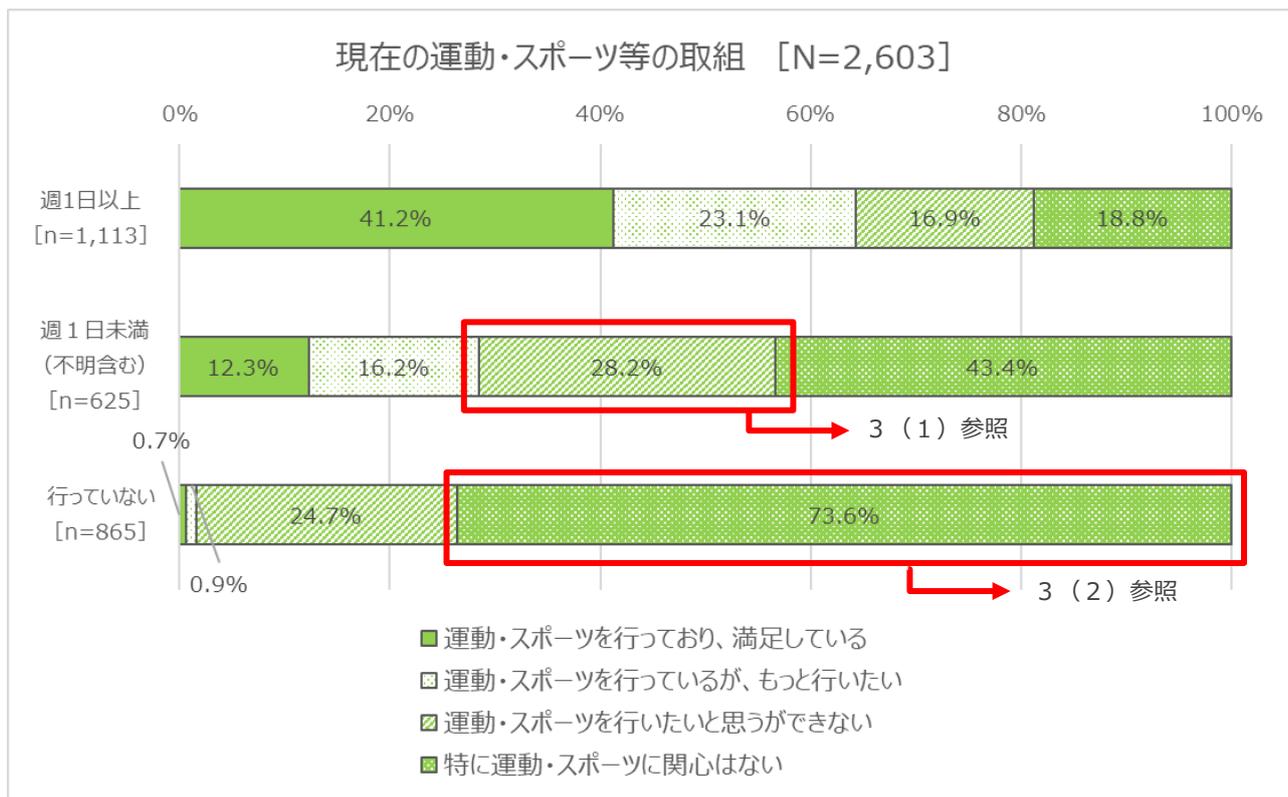


2. 運動・スポーツに対する関心

○ 20歳以上の回答者について、過去1年間の運動・スポーツへの取組について実施頻度別にみると、週1日以上の実施者では「満足している」が41.2%と最も多く、次いで「もっと行いたい」が23.1%であった。

週1日未満の実施者で最も多かったのは「関心はない」が43.4%、次いで「行いたいと思うができない」が28.2%であった。

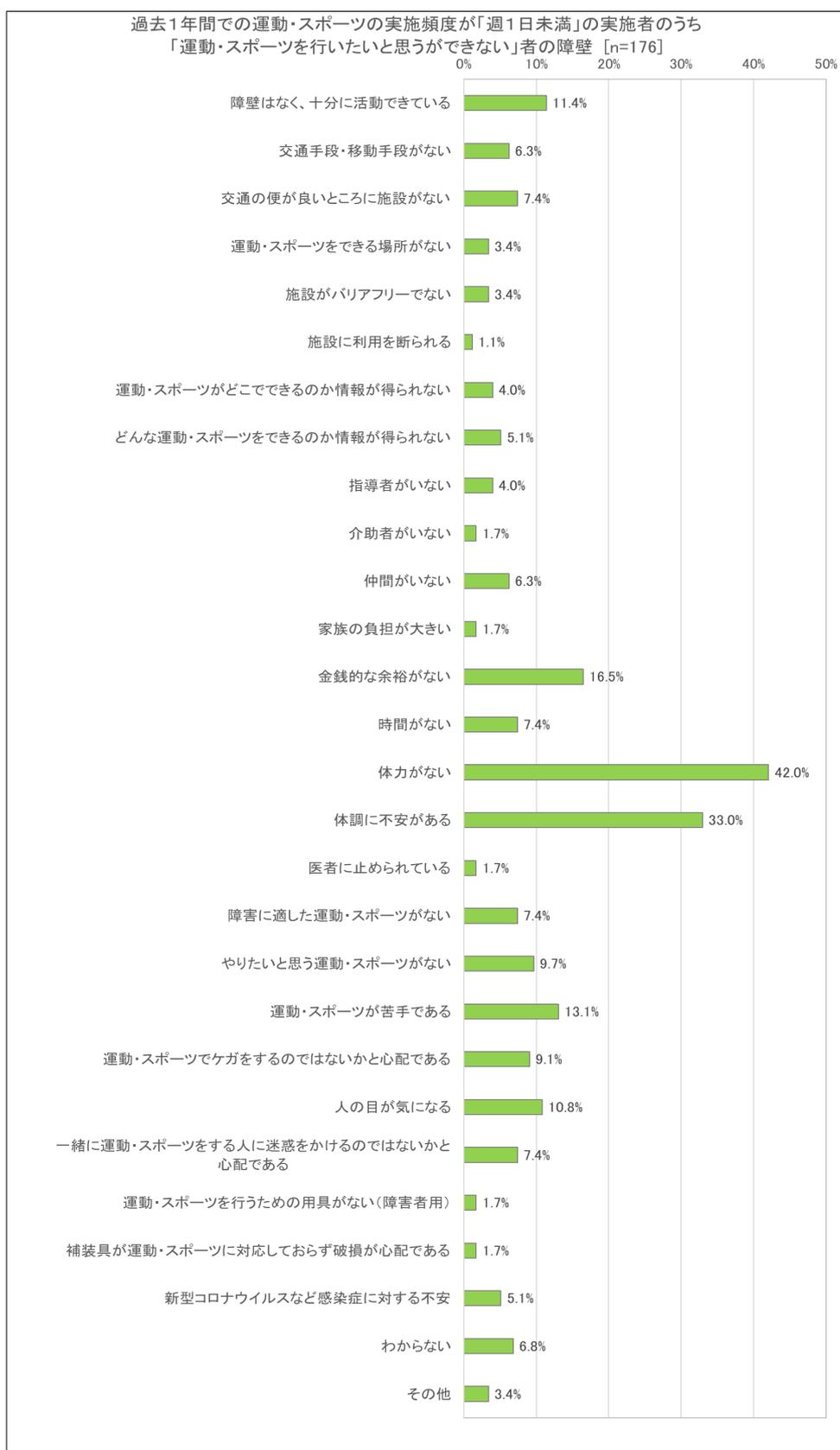
1年間に1日も運動・スポーツを行っていない者では「関心はない」が73.6%と最も多く、次いで「行いたいと思うができない」が24.7%であった。



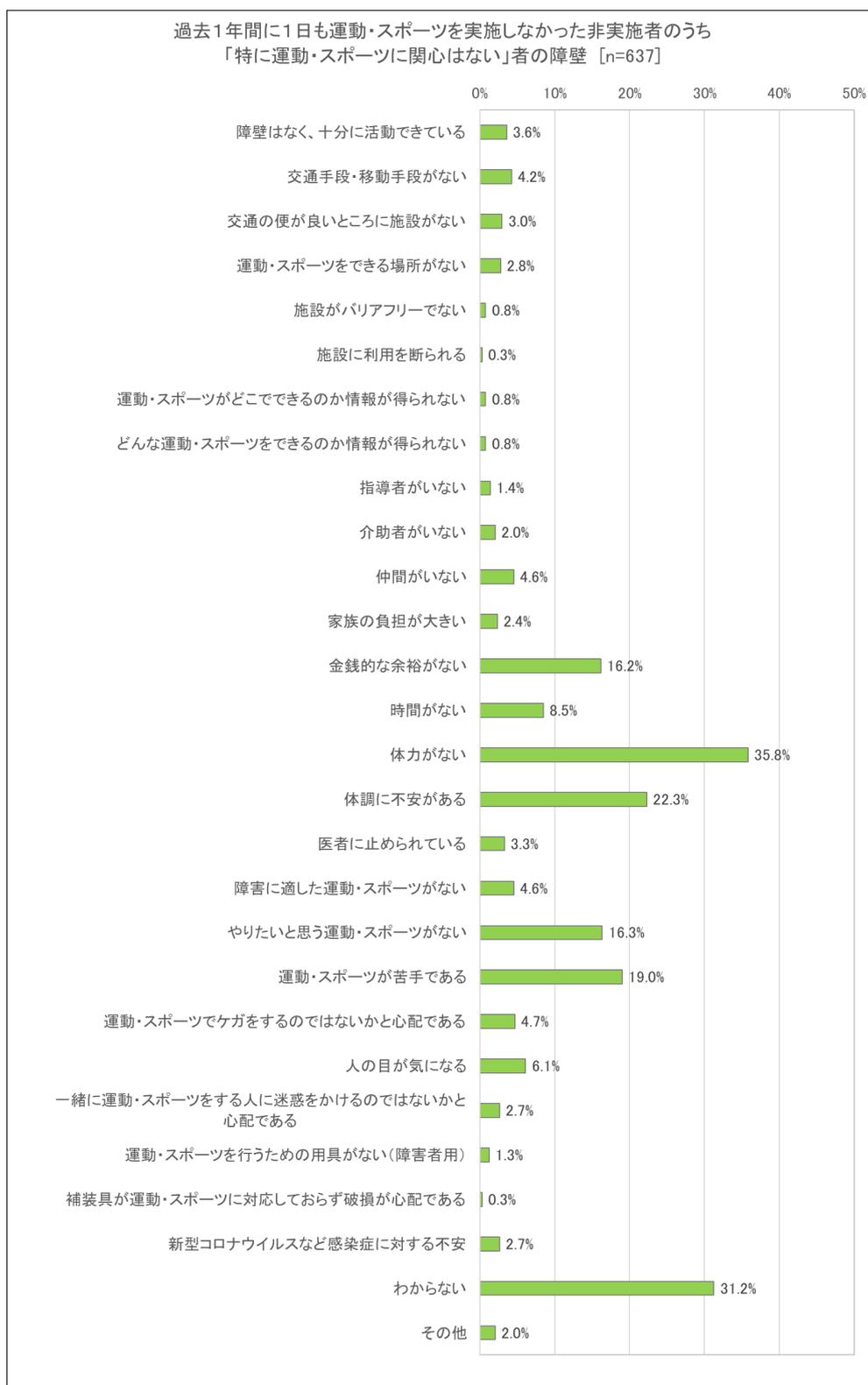
3. 運動・スポーツの実施の障壁

○ 本調査において「障害のあるあなたご自身の運動・スポーツの取り組みについて障壁となっているものは何ですか」という質問も行っている。この20歳以上の回答状況を、スポーツ実施の頻度や運動・スポーツへの関心により2つの層について確認したところ、以下のとおりであった。

(1) 過去1年間での運動・スポーツの実施頻度が「週1日未満」の実施者のうち「運動・スポーツを行いたいと思うができない」者の障壁



(2) 過去1年間に1日も運動・スポーツを実施しなかった「非実施者」のうち「特に運動・スポーツに関心はない」者の障壁



本調査結果の詳細については、下記の URL に掲載いたします。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1402342_00002.htm

【担当】 スポーツ庁健康スポーツ課

障害者スポーツ振興室 室長 遠藤 翼
 室長補佐 小野 優里
 専門職 五町 歩美

TEL 03-5253-4111 [内線 3938]